

第152回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和5年2月28日（火） 9：39～9：53	場所	第一会議室
出席者	白井市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、北村議会事務局長、伊藤健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、富田企画政策課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 各部連絡事項 			
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 新型コロナ感染症への対応（日別集計） 3 令和5年3月13日以降の施設等対応 4 令和5年3月13日以降の集会施設におけるコロナ対策（案） 5 令和5年3月13日以降の公民館におけるコロナ対策 			
<p>（進行：福祉保健部長）</p> <p>（市長）</p> <p>新しい日常の構築に向けて、現場を含め検討が必要となる。よろしく願います。</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>（1）新型コロナウイルスワクチン接種状況について</p> <p>（新型コロナウイルス感染症対策担当課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種状況については、資料のとおりである。 ・令和5年度以降の接種については、2月24日開催の厚生労働省の自治体説明会を踏まえた内容となっており、3月開催の厚生文教委員会への提出資料と同内容となっている。詳細は資料のとおりである。なお、令和5年度に向け、準備できるものから進めている。 <p>（2）新型コロナ感染症への対応について</p> <p>（健康課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への対応実績は、資料のとおりである。前回会議で報告した以降の2月11日から2月24日までの対策事業の実績である。詳細は資料のとおりである。 <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月以降の接種体制について、庁内の体制を変更する必要があるか。接種現場の体制はどのような想定か。 <p>（新型コロナウイルス感染症対策担当課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度以降の接種については、先ほどの資料のとおりである。5月から接種が開始されるため、現状の担当課長、保健師を含めた6人体制を維持したいというのが担当としての希望である。 				

・4月以降の集団接種については、4月は3月と同様の実施体制を継続する。5月以降は約3万人が対象となるため、場合によっては旧西友大規模接種会場を活用することも想定される。

2 各部連絡事項について

(生涯学習部長)

・令和5年3月13日以降の施設等の対応についてである。詳細は資料「令和5年3月13日以降の施設等対応」のとおりであるが、これまで行ってきた感染対策は継続しつつ、マスクの着用については利用者の判断を尊重することとし、マスク着用に関する掲示は行わないこととする。ただし、学校施設を利用する事業については、学校の方針に準拠することとする。また、公民館と集会施設の対応については、資料「令和5年3月13日以降の集会施設におけるコロナ対策(案)」、資料「令和5年3月13日以降の公民館におけるコロナ対策」のとおりとする。

(市民部長)

・宮地楽器ホールについては、ガイドラインが3月13日までに示される予定となっているため、それを踏まえ対応を検討する。

(子ども家庭部長)

・基本的には、教育委員会と合わせて3月31日までは現行通りの対応とする。

(学校教育部長)

・東京都の通知によると、卒業式のみマスクを外すこととなっている。4月以降については、3月31日までに新たな通知が発出される予定である。3月31日までは従来通りの対応とする。

(市長)

・4月以降の対応に関する通知はまだ出ていないのか。いつ出される予定か。

(学校教育部長)

・本日時点では出されていない。いつ出されるかも未定である。

(総務部長)

・3月13日以降のマスク着用については、国、都によると原則個人の判断としている。業務上、特に窓口職員のマスク着用については、現時点では方針を示せない。他市や民間企業の動向を踏まえ検討したい。

・職員の感染者数は、昨日時点で2名となっている。

(子ども家庭部長)

・保育の現場の職員の意見としては、移さないことを前提に考え、マスクは着用したいとのことである。

(福祉保健部長)

・高齢者施設、障がい者施設の職員については、感染させないこととなるので、マスク着用となるが、ガイドライン等が示されれば、それに従うこととなる。

(市民部長)

- ・アクリル板の取り扱いはどうなるか。

(総務部長)

- ・マスクの取り扱いとともに検討する。

(教育長)

- ・学校の子ども達は、マスクを外せないという不安を抱えている。個人の判断といっても子どもたちはなかなか判断できないので、そういうところに寄り添って対応していきたい。

(福祉保健部長)

- ・マスクの取り扱い等について、まだ決まっていない部分も多い。3月13日までの情報を見て、必要に応じて、庁議等で協議したい。

(以上)